

The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine -Enhance Pharmaceutical Medicine- 7th Annual Meeting



一般財団法人日本製薬医学会

製薬医学における Globalization / Localization

場所 東京大学 山上会館
大会長 岩本和也 (財)日本製薬医学会 理事長

日本製薬医学会では一般財団法人への移行後、2010年よりオープン参加型の年次大会を開始し、これまでに、製薬企業、アカデミア、規制当局と産官学の第一線で活躍しているメンバーを始めとする各分野の専門家が参集し、臨床開発、臨床研究、安全性等について活発な議論を行なって参りました。この度は国際製薬医学会のメンバーも招待し、「製薬医学における Globalization / Localization」と題して、本邦における今後の製薬医学のあり方を内外の視点から議論を深めていきたいと考えております。

1日目 2016年7月1日(金)

- 13:00-13:25 大会長講演
- 13:25-15:15 国際製薬医学会との共催企画
Trends of Pharmaceutical Medicine in Asia
- 15:30-17:00 メディカルサイエンスリエゾン (MSL) ～ここから未来へ～
- 17:00-18:00 <第一会場>
Medical Safety 部会特別講演
- Inter-disciplinary translational science focusing on the patient safety
by using Bio-imaging -
- <第二会場>
MDキャリアクラブ講演
- 18:00-18:40 会員総会
- 18:40-20:00 懇親会

2日目 2016年7月2日(土)

- <第一会場>
9:00-10:30 医薬品開発における認定制度とその意義
- 10:30-12:00 医薬品の広告規制に関する最近の取り組み
- 13:00-14:30 グローバル化する日本のMAの環境：欧米との違いを中心に
- 14:50-16:50 臨床研究に関する規制のグローバル化
- <第二会場>
9:00-10:30 製薬企業が主催するABMとは？
- 10:30-12:00 非臨床・臨床境界領域におけるトランスレーショナルサイエンス 皮膚障害を中心として

事前参加登録割引価格あり

事前ご登録締切：

2016年6月16日(木)

(以降は当日受付となります)

<http://japhmed.jp/soukai/2016.html>
zymukyoku@japhmed.org